

教育委員会だより

母さんの手作り芸能発表会 多彩な出し物・笑いにあふれ、大好評!!

2月16日(日)、ジョイ
じよぐら天の川ホールを
会場に、毎年恒例の「母さ
んの手作り芸能発表会」が
開催されました。早朝の大
雪にもかかわらず、およそ
三百五十名の町民が訪れま
した。

この芸能発表会は、女性
同士の親睦を深める目的で
昭和55年から開催されてい
るもので、今年で34回目を
迎えました。

初めに古館丸子会長が、
「先輩の後を引き継いで、
継続は力なりを合い言葉に
今日まで取り組んできまし
た。今年のテーマは心を込
めた感謝とし、冬の一日を
大いに楽しんで、笑っても
らいたい」と挨拶を行いま
した。

続いて工藤町長が、「34
回続いたということ自体が
歴史そのものである。素人
の方々が、どうしたら喜ん
でもらえるか?今日は手作
りの成果を見せてくれると
思う。みんなと一緒に声援
を送りたい」とお祝いの言
葉を述べました。

オープニングは、上ノ
国音頭で華々しく開幕、そ
の後、天の川慕情を披露し
ました。一回目から司会を
務める杉田京子さんは、プ
ルーのチャイナドレスを纏
い、巧みな話術で次々と出
し物を紹介し、観客を魅了
しました。

各地区からは、趣向を凝
らした多彩な演目が次々と
披露され、終始笑いに包ま
れました。また、歌の部で
は、各地区代表の「歌手」
が、持ち歌を披露し、花束
やテープを手に携え、心地
よく歌っている姿が印象的
でした。

三部構成の手作り芸能発
表会には出演者、観客らが満
足感の中無事終了しました。



廿連協の役員による踊り
決まっていますネ



海女の服装で軽快に踊る



おけさ笠が色つばい佐渡の恋唄



笑いを誘った婆芸馬

大学の先生迎え先生方が勉強会

—ほんとうの学力とは? 授業をどう創る?—

今年もしっかり学び合う

今年も教育講演会が実施
され、先生方が学び合いま
した。

講師は教育大学札幌校・
庄井良信教授。「北海道い
じめ防止条例検討委員会」
の座長を務めるなど、超多
忙な中、駆けつけて下さっ
たのです。

演題は、「自己肯定感を
高め、人生イメージを学び
合う授業づくり」でした。

「学ぶほどに焦る」から
「安心と希望が広がる」へ

庄井先生は先生方の授
業づくりの努力を評価し
ます。その上で、子どもた
ちは、すぐに正解を求めら
れ、「疎外と焦り」をため
込んでいます。我先にと「正
解」を競い、自分の答えが
正しいかどうかだけに目が
向き、互いの考えを耕し合
う「学びの本質」を外れてい
ることはないかと指摘。
何度も訪れているフィン
ランドの学校と授業の実際
を紹介し、「安心感と物語
ある学び」が必要と指摘し
ます。

問いと答えの「間」に
学びが横たわっている

庄井先生は、「おずおず
としながらも自分の考えを
紡ぎ出す空間」をと繰り返
します。「こんなことを言っ
たら笑われるのでは?」な
どの不安を持たせるのでは
なく、「そうか、そんな考
えもあるんだ」と受け止め、
○か×で終わらせることな
く、問いと答えの間に横た
わっている学びを掘り起こ
す授業づくりをと強調。そ
こには、先生が準備した指
導案を越える幸福な出会い
が生まれると語ります。

思春期以降の伸びは
安心感ある学びの中から

庄井先生は、「学力の思
春期以降の伸びは「自己肯
定感」と関連している」と
も指摘。安心して学び、「自
分の考えが無駄でなかつ
た」「友だちの考えにも目
を開かれた」という経験を
自分の心と体に刻んでいく
と、感情の上でも安定し、
知識を広げ、行動に自信が
持てるようになる、それが
「自己指導力」であり、自

